

中学生は高校生を間近で見ることで取り組みの模範を学ぶことができる

F. I.

獨協医科大学 医学部 医学科 進学

日立市立 久慈小学校 卒業

中学の頃は将来の夢が決まっておらず、成績も好ましくない状態が続いていましたが、医学コースに所属し、講座や講演を通して医療に興味を持ったことにより、自分の将来やりたいことが決まり、勉強のやる気も高まりました。また、同じ医学コースに所属する生徒同士で影響を受け合い、最後まで集中を切らさず、質の高い学習を続けることができました。

6年間の思い出は3つあります。1つ目は、高3のときに文化祭の出し物でコーヒーカップをつくり自分たちのクラスが人気投票率一位になることができクラス全員で大盛り上がりしたことです。2つ目は、研修旅行で京都の町を食べ歩きしたら食べ過ぎて、そのあと宿で出された夕食が全くのどを通らなかったことです。そして3つ目は、部活動で前の大会で負けてしまったチームに対して、最後の総体で勝利し、中央地区で優勝することができたことです。

茨中・茨高の良いところは、中高一貫であるため中学生は高校生の姿を間近で見ることができ、先輩が受験と向き合う姿勢や部活動への取り組み方など、様々なことを学ぶことができる場所です。また、先生方が生徒の受験に対して非常に協力的であり、各科目の学習面でのサポートはもちろん、大学受験の面接、小論文の対策を行ってもらえたりや志望理由書の作成の際にアドバイスをもらうことができ、安心して受験に臨むことができる点も良いところです。

将来は、医師となって自分が育った地元茨城の地域に貢献したいです。また、今後どこの科に属するかなどは具体的に決めていないので大学生活を通して自分が興味を持った分野に進んでいきたいと考えています。そして、大学では一人暮らしをするため健康的な生活を送りたいです。